

未来へ(東中だより)

第21号 令和5年3月15日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ
「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashifuri-j/>

ローリングする

3月10日 卒業証書授与式

3月10日は、第76回の卒業証書授与式でした。雨上がりのさわやかな春の日差しの中で、中島武子副町長様のご臨席のもと、卒業生60名を見送ることができました。卒業生の旅立ちにのぞみ、以下のような話をしました。(一部抜粋)

「卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年度も、新型コロナウイルスの関係でいろいろな行事に苦心する一年でした。中でも皆さんは、自分の活躍の場を見つけ、『出番・挑戦・承認』を合言葉に、伸び伸びと活動してきました。特に、体育大会では、自分たちで考えた生徒会種目、そして自分たちで考えた応援合戦を実行しました。皆さんの生徒会が本格的にスタートした2年生の1月、校長室で新役員を前に、みなさんの一番の長所をあげ、その良さを生かして頑張ってくださいと言いました。その良さとは、仲が良いということです。各種調査で、友人関係の良さがずば抜けていることがわかっていましたからです。熱闘を繰り広げた体育大会の解団式、その終わりに、相手を称えるエールの交換が自然に行われた時には、胸が熱くなりました。

さて、昨年で引退した歌手に、吉田拓郎という人がいます。ちょうど私が中学3年のころ、拓郎さんは30代になりました。そして、『ローリング・サーティー』というアルバムを出します。当時の友達が、とてもいいアルバムだから聴きに来いというので彼の家で聴きました。そうすると、なるほどいい歌がありました。『人生を語らず』という題名の歌でした。なんだかよくわからないけど、最初の歌詞が胸を打ちました。こんな歌詞です。『朝日が昇るから起きるんじゃないで 目覚めるときだから 旅をする』

最近になってやっと歌詞の意味が分かったような気がします。卒業生の皆さんの境遇に置き換えてみます。『3月になったから次の段階に進むんじゃないで、新しい出発の時だから、チャレンジする』となるのではないのでしょうか。時の流れに任せるのではなく、強い自立への意志をもって旅立っていく。そんな思いが込められた歌だと思います。

ことわざに『転石苔むさず』というものがあります。英語で言うと、A rolling stone has no moss. 『苔』が良いものか考えるか、つまらないものか考えるかで2つの解釈があります。転々としている人は大成しないという解釈、活発に動き続ける人は清新でいられるという解釈の2つです。私は後者を好んで使います。

これからの時代は『不透明な時代』と言われますが、それは逆に言えば、可能性に満ちた『ワクワクする時代』です。どうぞその中であって、強い自立の意志をもって、活発にローリングしてください。その時に、この東脊振中で培った『知性と感性と耐性』はきっと役に立つことと思います。卒業生の『しなやかでたくましい』前途を祈念します。」



<表彰 おめでとう> (敬称略)

○学童美術展 県審査(3年生分)

準特選 原 優佳 入選 中島伊織

○皆勤賞(3年生分)

3年間 青木一朗 高橋真由 原 優佳 廣瀬結空
小西奏太

1年間 柗木華凜 古賀央馬 鶴崎生真 原 斗佑真
元石暖華

○町教育委員会表彰(3年生分)

教育奨励賞 元石暖華

体育賞 平 陵太郎 中村颯希

明朗賞 筒井 凜 筒井沙和

奉仕賞 野中綾乃

